



九月の海辺にて

-なまイキ少年のアブない闇バイト-

夏休みが終わって
ひと気のなくなった海岸に
やってきた変態おじさんと少年。
少年はおこづかい欲しさに
アブない闇バイトをすることにして……

R-18
ADULT
ONLY

18歳未満の
購入、閲覧禁止

この度は「九月の海辺にて」を
お買い上げいただき
ありがとうございました。

少しでも楽しんでいただけたら
幸いです。

2023/11/12 ストレンジャー

pixivFANBOXのアカウントが
凍結されてしまったので、
ファンティアをはじめました。

これまで支援してくださった皆様に
謝罪と感謝を申し上げます。

HP <http://syota.buzama.com/>
MAIL undergroundou@gmail.com
pixivID undergroundou
Twitter under_groundou
Fantia <https://fantia.jp/fanclubs/503233>



* 本作品は成人向け作品です。
18歳未満の方の閲覧、購入を禁止しています。
この作品はフィクションです。
実在する人物、団体とは一切関係はございません。



夏休みも終わって
うだるような
暑さも

ようやく
落ちついてきた
9月半ばの
土曜日――

もう海水浴も
できない
海の家も
やってない

カモメと
クラゲしか
いない

ゴミだらけの
濁った海岸に
ボクは
おじさんと
やって来た――

……誰も
いないね

だから
言っただろ？
ここなら
誰にも
気づかれない……

僕たちには
好都合だ。

そうなの？

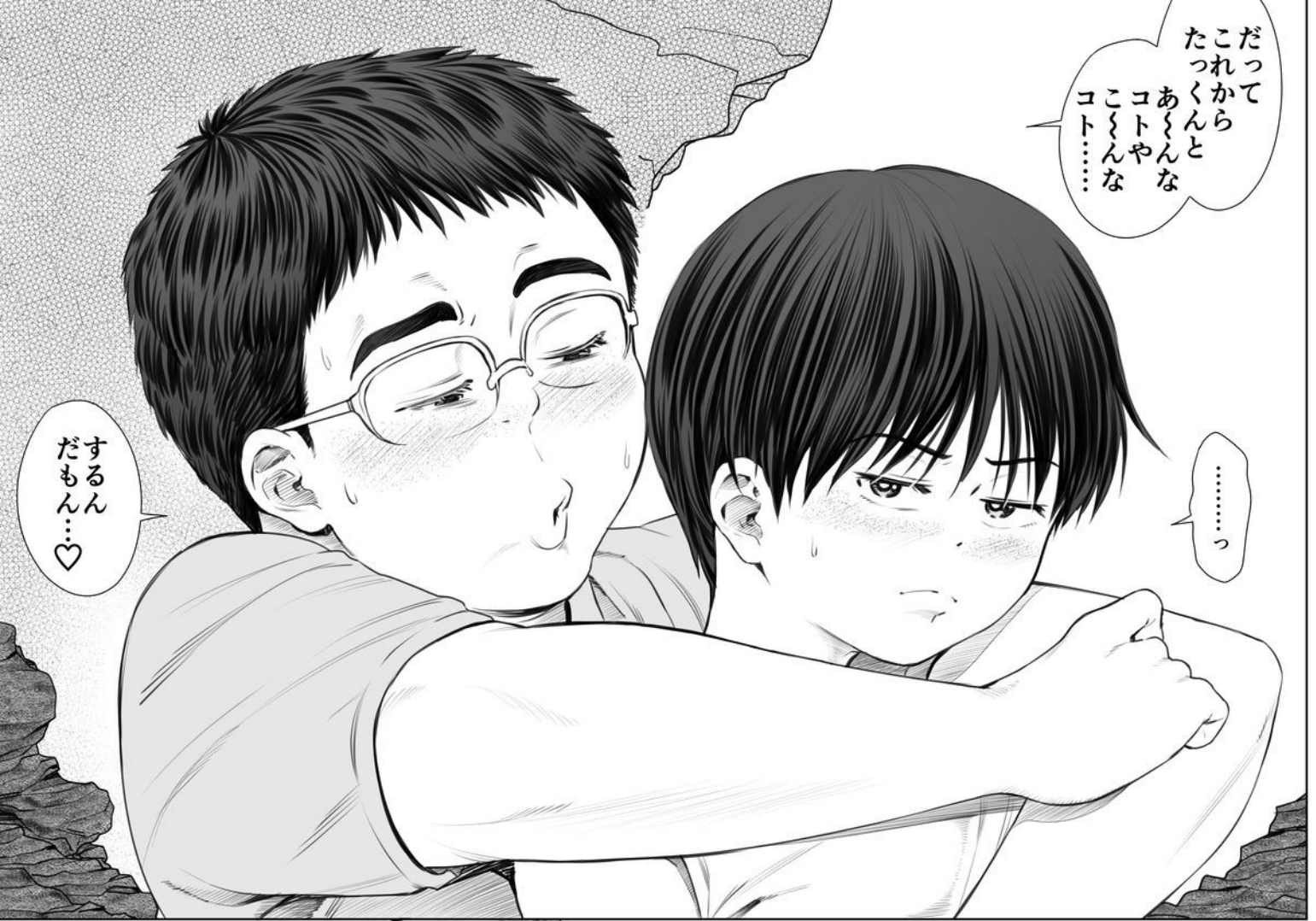
遊びに来た
わけでも――

ましてや
ゴミ拾いの
ボランティアに
来たわけでもない

だっ
これ
たから
あんと
コトや
コトな
コト……

……っ

するん
だもん……♡



この鼻の下が
伸びている
メガネのおじさんは
行きつけの
ゲルセンで
最近知り合った

三万枚以上の貯メダルを
持っていて
会えばそのメダルで
遊ばせてくれる
気のいいおじさん……
だと思っただけ——

それじゃ
脱いでみようか
たつくん♡

ギョッ!

ゴクッ



ちよつと
違ったみたい。

プールへ行くにも
ハンバーガーを
食べるにも
ゲーセンで遊ぶにも
お金が掛かる――

何をやるにしても
金金金。
母子家庭の
我が家には
なかつた――
お金がない

言われた通り
海パン履いてきたけど
泳げないんじゃない？
意味なくない？

自分で
脱げるんだけど…

そんなコトないさ。
チンポジクイズで
遊べるだろ？

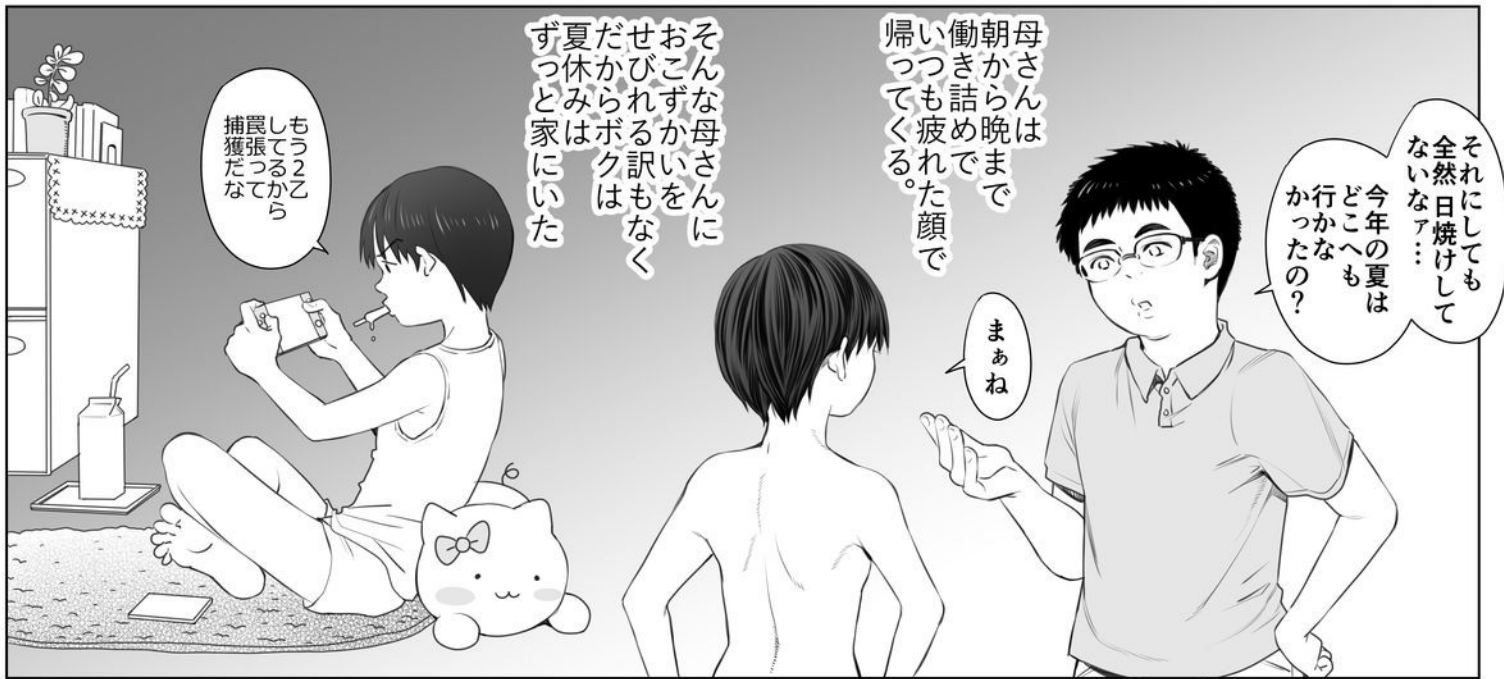
たっくんの
チンチンは
いま右向き!!

いっくのオ
やらせて
ほちいの♪

ぽっ〜ん

なに
そのゴミみたいな
問題……
この水着
去年から着
履いてるから
ちよつと
キツいんだよね

チンチンクイズ……



たっくんの夏休みの主な過ごし方

AM 09:00	起床
AM 10:00	友達と通話しながらゲーム
PM 12:30	昼食(冷凍ごはんと卵でドライカレーを作る)
PM 13:00	ゲーム再開(プレイ内容に関して若干メモる)
PM 15:30	方向性の違いにより解散
PM 17:00	「五時に心中」を鑑賞
PM 18:00	ソロプレイでゲーム再開(素材集め)
PM 20:00	母帰宅
PM 23:30	動画を観ながら寝落ち



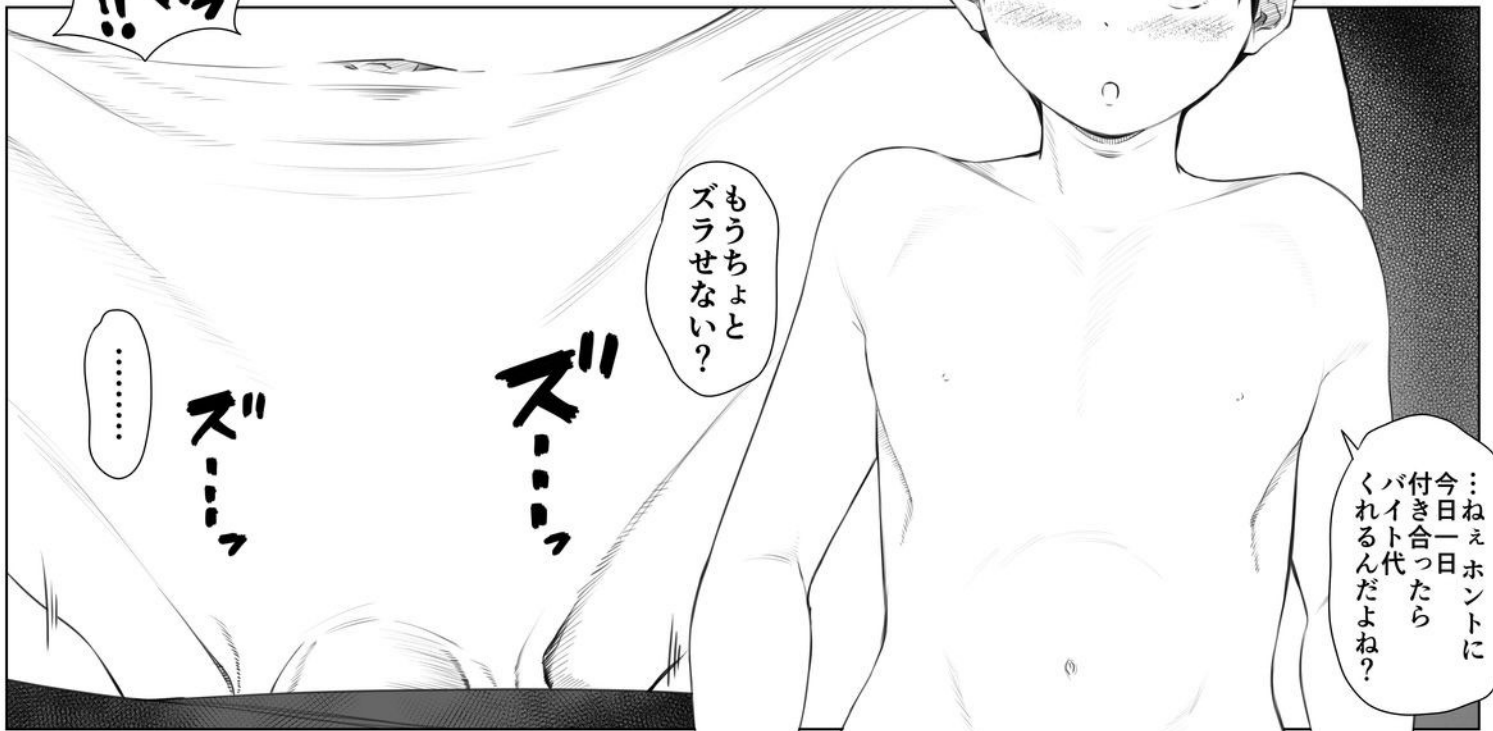


…ほらね

ないってば。
ゲウチでずつと
してたもっん
つか

おっ
おっ
!!

グイッ



もうちよと
ズラせない？

……

ズ……

ズ……

…ねえホントに
今日一日
付き合ったら
バイト代
くれるんだよね？



…来月は
修行がある。
…旅行がある。
…クラスメイトの
ヨツちゃんとの
お揃いの木刀を
買う約束も
しちゃったし

旅行に
着ていく服を
みんな
買っていく
約束も
して……

もちろん！
働きのよって
額は
かわるけどね



.....
っ

ちも
よつと
ちも
よつとオ
:



これなん？

おはよ

こ...
これが
リアルシ
ョタの
ホーケ
ー無毛
チンポ
かあ
ハシヤ

やっぱり
三次元の
生チンポは
違うねエ...
ハシヤ

ボクのどどめ色の
カスチンと比べて
全然黒ずんでなくて
きやわいい♡
ハシヤ

ハシヤ

おおっ
!!!





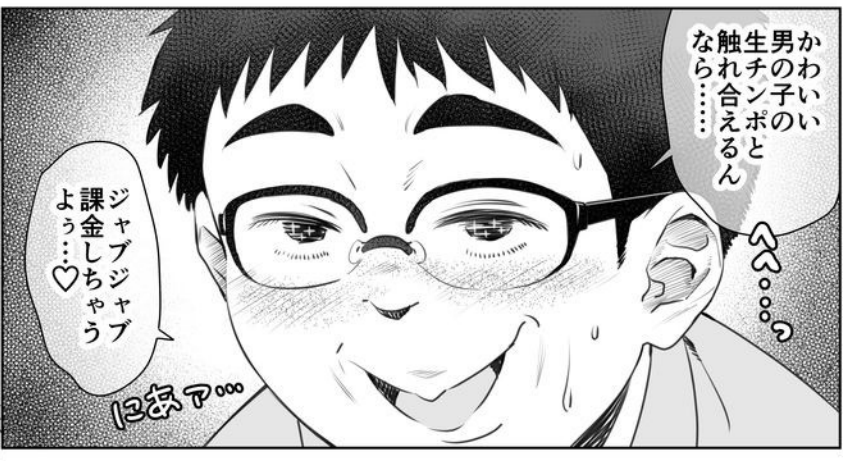
きゅめ!!

ふたつエチンチンのは
おクの小指と
なんだねエイス



お触り
オケリ?

金額に
よるけど



かわい
いのい
男の子
生チン
ポどん
触れ合
えるん
なら...

ジャブジャブ
課金しちゃう
よう...♡

はあア...



こんな
いい空
の青空
のいい
天気
でも
明でも
下は闇

こんなこと!
しちゃいけない
闇バイト
わかんなくて
わかつてるけど

たつくんちも
そう思わない?
僕え...
聞かない?

平常時の
オチンチン
ずつと見て
飽きないよ
でもAVとか
すぐ勃たせ
すまレイが
始まるから
物足りない
んだよね



知らんけど

だって
本当は
知ってる
んだよ



誰かに迷惑かけてる
わけでもないし
許してくれ
よ...

チン皮は自分で
ムイタこと
ある?



タマタマも
すべすべで
ちっこくて
プリティ♡

人の悩みの大半は
お金で解決できるって
登録者が百万人以上いる
ミーチューパーも
言ってたし



だからもし
バレても
論破
できるでしょ

それじゃあ
お兄さんと
ムキムキ体操
してもよっか♡



今日は
遅かったね
おめかしして
こんな時間まで
どこ行ってたの？

なにかこの
大量のお菓子…

そこで
知り合った人が
母さんの彼氏
だつてことも。



スルッスルッ

ズッ
ズッ

っっっ



ほおら
ピラダに
!!!

スッ



ムキムキ
先っぽ
こには。

ツッ

潮風で
スースー
する……

まだ誰にも
触れられてない
びゅあびゅあ
ピンクの敏感
おカメちゃん♡

…ほんとにシッコしたことないんだねエ…

全然チンカス様も溜まってないしイカ臭くもないんだもんア

僕がたつくんぐらしいの頃はエツチな漫画読みながら

よくこうやってオチンチンを床に押し付けたもんさ

なんで床？

オナリ方がよくわかんなかったんさ

今日はお兄さんが手取り足取り色々教えてあげるからねん
マイルスイートプリンちゅ♡

…吐きそうなんだけど

キョ

キョ

キョ

ズッ

ワッ

ワッ

てかおじさんも脱いでくんない？
オレひとりだけチンコ丸出しでバカみたいじゃん

えやダ…
大胆

あとで素っ裸で免許証口にくわえた写真撮らせてもらうからね
オレの写真も悪用しないでよ

えんっ
○○○とは思えない発想なんだけどオ…
将来ロクな大人にならないゾ!!

ほっとしてよ

…けどそれはそれで興奮しそだなア…
アへ顔ダブルピースかしてあげるからたつきゅん♡

ウザ…



親や先生みたいに
うるさいこと
言わないし

…ねえ
なんで
大人の
チンチンに
毛エ生えて
ないの？

兄弟や
友達みたいに
ケンカする
こともない

会えばメダルを
くれたり
お菓子やジュースを
オゴってくれたり

まあ
ツルチン同士
仲良く
しようぜ!!

暑苦しいん
だけど…

知らない遊びを
教えて
くれたりもする

無
衛生的だし

巻き込み事故も
起きないから
脱毛したんだ

いっつも
三つコシ
の悪口
カンスタ
ランクも
して

何となく
この距離感が
心地いい…

…魚のエサに
なりたいたいのかな

ほら僕の
好きなのは
揉んでいいよ。
まだお母さんの
恋しい年頃だろ？

…いいなア
たつくんは。

顔はめっちゃ
カッコイイし
僕みたいに
脂肪も
ついてないし
学校じゃ女子に
モテモテで
大変だろ？

んなわけ
ないじゃん
学校じゃ
陰キャだし

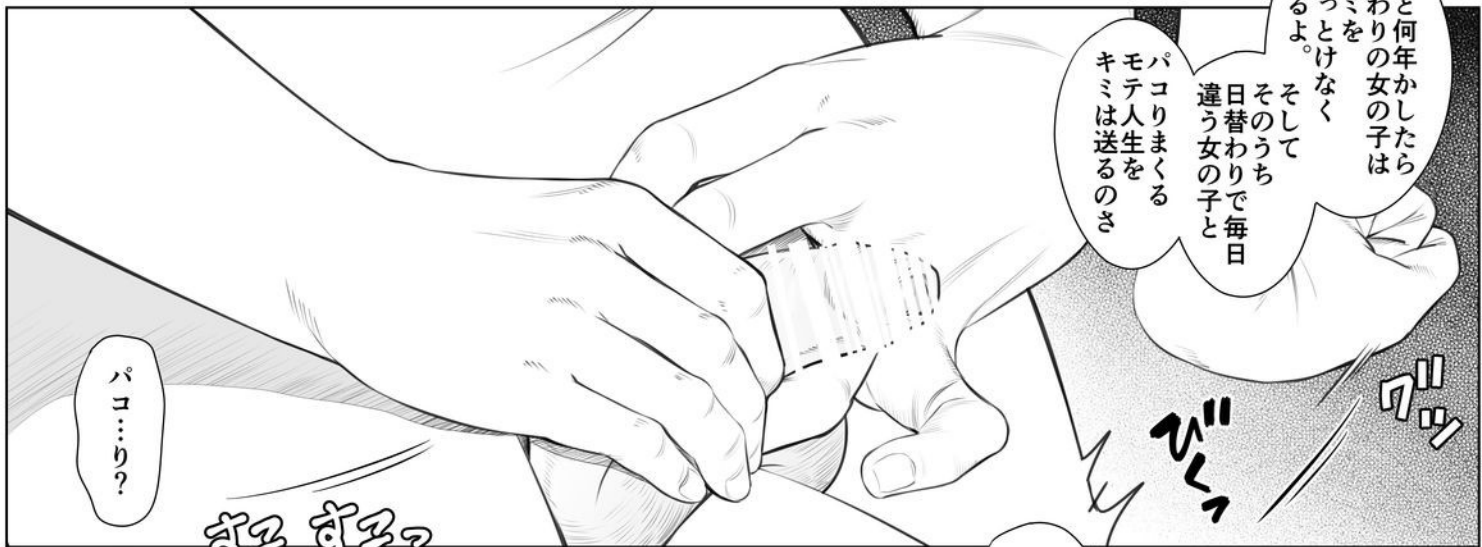
…キミは
陰キャを
知らないね？



担任の先生に
名前を
間違われたり
クラスの女子から
自分の
プロフィールを書く
ファンシーな紙を
生涯で一枚も
もらった
ことがない
人間がシンの
陰キャなんだよ

あ…それ
何枚か
もらった
ことある

…だろ？



あと何年かしたら
まわりの女の子は
キミを
ほっとけなく
なるよ。
そして
そのうち
日替わりで毎日
違う女の子と
パコりまくる
モテ人生を
キミは送るのさ

パコ…り？

すま すま



今はこんなに
かわいい色した
オチンチンも

大勢の
オマンコの中で
浅黒く
変色していつて

イケてる
ヤリチン野郎に
なるに
決まってる…

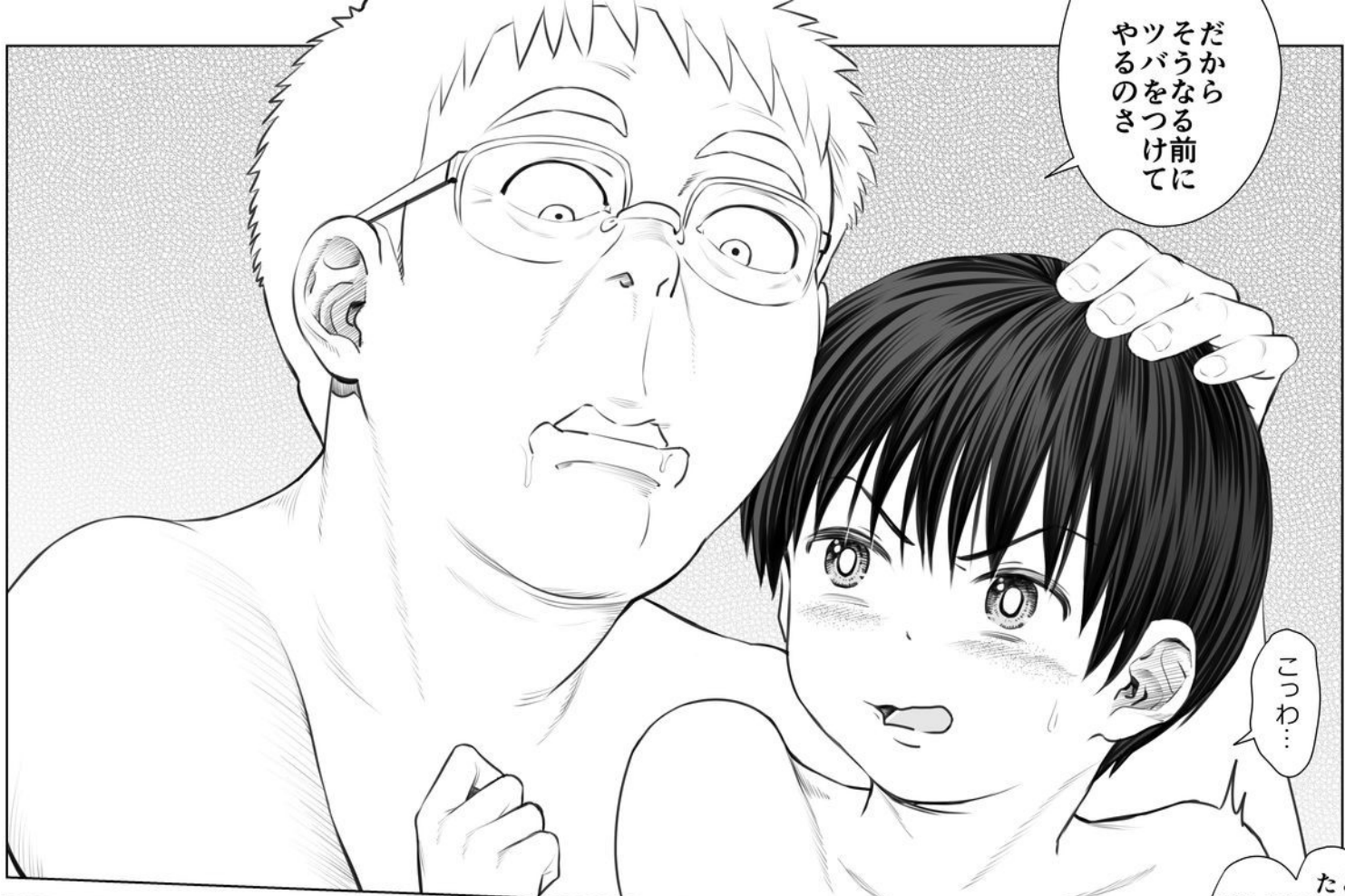
勝手に
決めないで
ほしいけど…

…り



んん

んん



だから
そうなる前に
ツバをつけて
やるのさ

こっわ…



どうだい
たっくん
何か
オチンチン
出そうか?

し…
知らんけど

出したくなったら
我慢せず
いいんだぞ

いや
キミは
知るべきだ!!

だって
ほら見いっ!!

ハッ

カッ

ハッ

—裸のまま
夏の太陽を
浴びるのは
気分が良かった。

気分が良くて
なんだから
このまま空に
昇っていきな
そんな気分で

実際に
ボクのチンチンは
おじさんに
擦られたり
揉まれたり
しているうちに

カチンコチンに
硬くなつて
太陽の方
伸びちやつて
る。

自分のチンチンは
肌色だと
思ってたけど
今日はつぼみから花が
咲いたように
照れてるみたいだった

♡♡♡♡♡



だだけど
目を開けては
見てもよく
お見せしめ
出さなくは



やっちゃった...



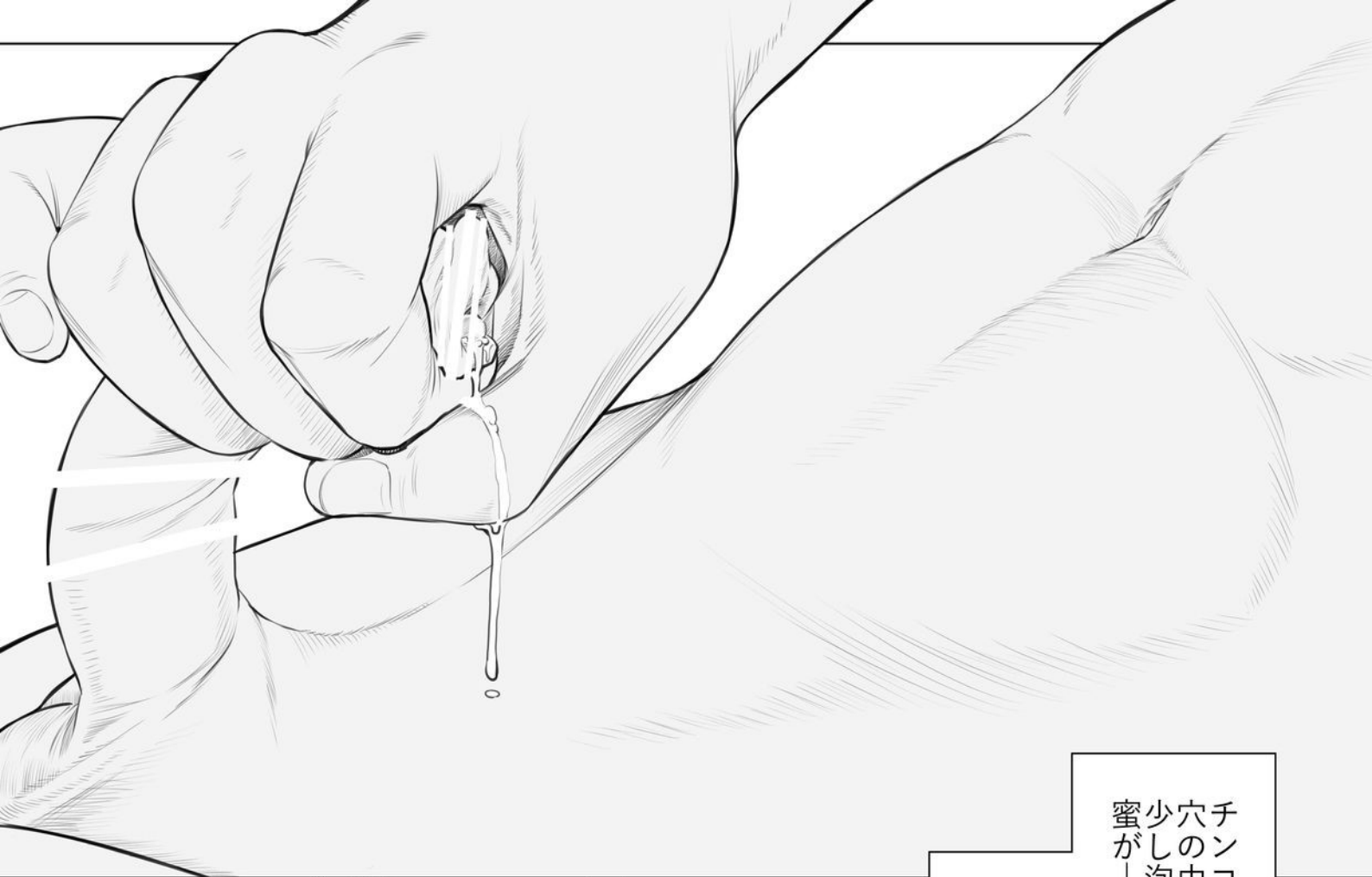
強く照りつける
太陽のせい
で光って見え
た。

~~~~~  
~~~~~

そのかわりに
透明な
トロっとした
蜜でチンコの
先が濡れてて




なんだか急に
力が抜けて
長いため息が
出た。




チンコの
穴の中から
少し泡立っ
た
蜜が

たらーんと
一滴だけ
ボクのお腹
に
たれた





おじさんは
それを
指で
すくって――



ボクの目の前で
わざとらしく
ニオイを嗅いだり
太陽にかざして
観察したり
してた――



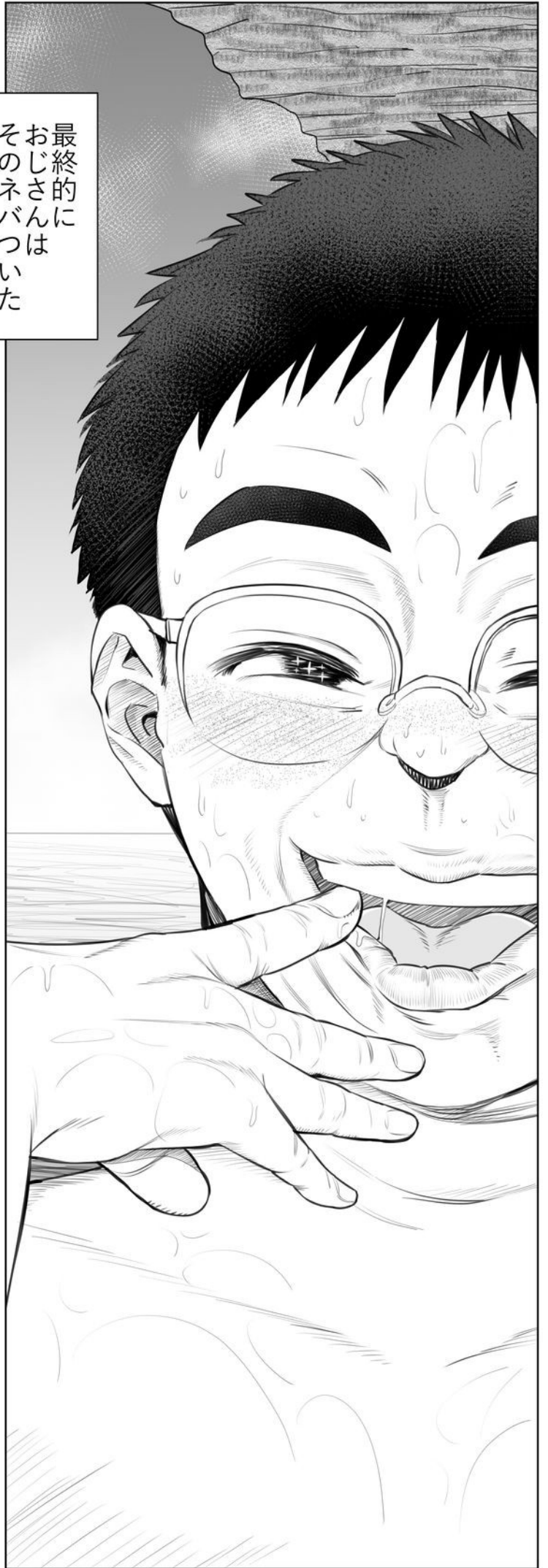
ボクは
ぐったりして
しまったて

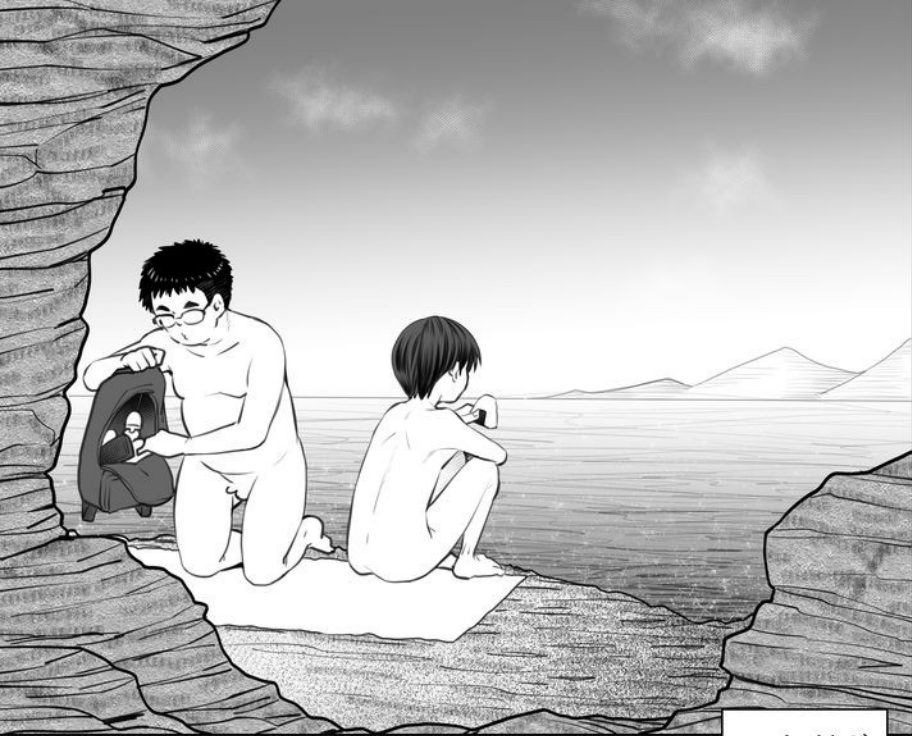
その姿を
しばらく
眺めてた——



最終的に
おじさん
のネバな
謎液を
舌で舐
った。

糸も自分も
引いていた……





ボクはもう
たぶりた
いだけ
だ
い

おじさんには
まだボクと
やまだコト
ありたい
だ
ある
だ
た



ボクの生白い体を
今からでも
焼こうと
提案してきた。

胸焼けなら
してると
やんわり
断ったけ
どー



おじさんは
鼻息荒く
オイルを
自分の手に
塗って



話の通じ
な相手が
な手じゃ
なかった

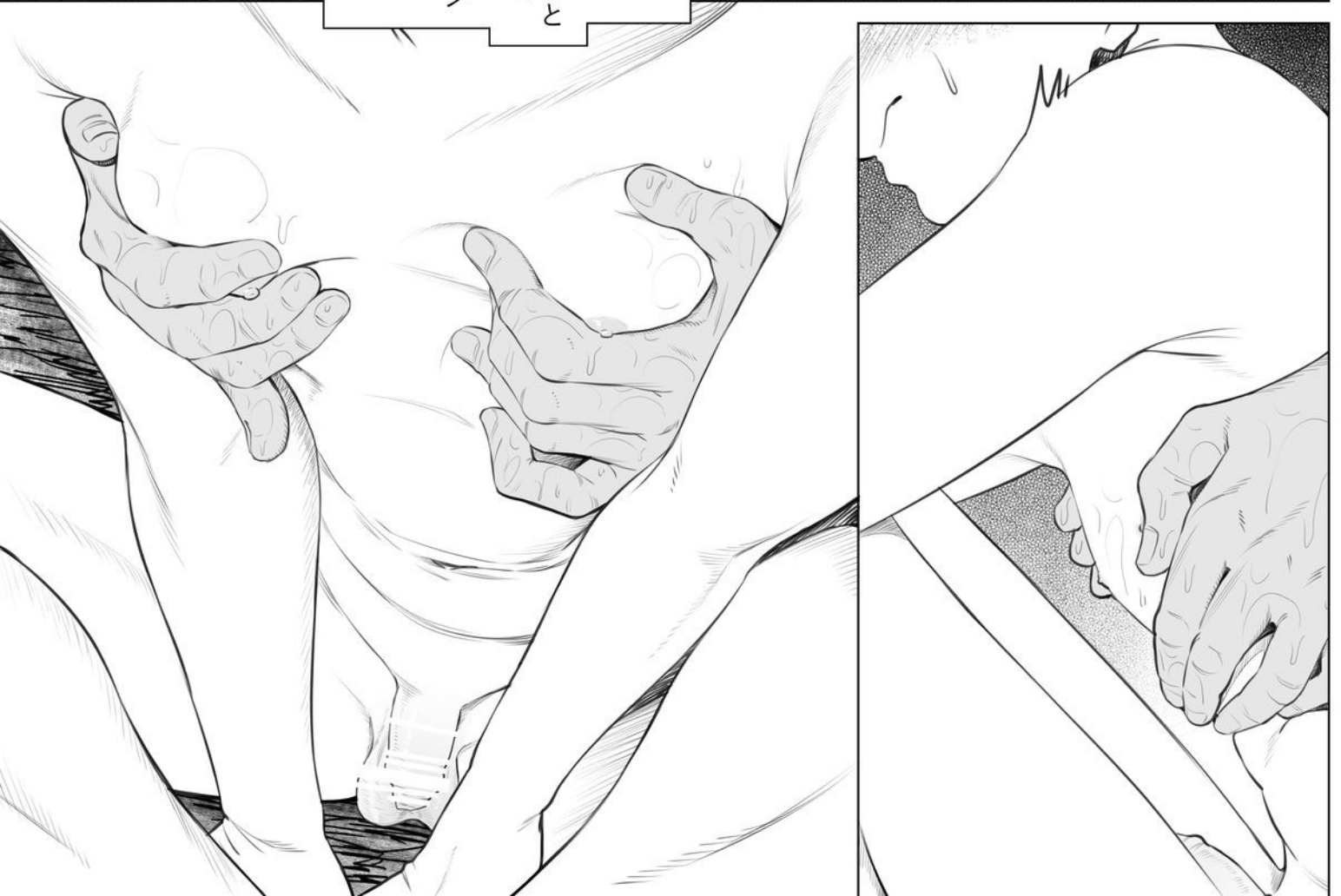


—ボクの体を
触り始めた。

おじさんの手は
ぷにぷにしてて
ねっとりしてて

じんわりと
温かくて

マッサージ
されてる
みたい
だった。





ドドド



体の隅々まで
オイルを塗られて
全身をテカテカの
ドロッドロに
された挙げ句

なぜか
ピンコがまた
しまつてー

おじさんに
しつかりと
見られた。

また触られて
何かされるん
じゃないかと
思ったけど
今度はボクを
からかうばかりで
チンコには
触つてこなかった。



なんだか
自分の体
みー部分
たいだ。



すぐに治まると
思ってたけど
なかなか
小さく
ならなくてー



困っている
ボグをよそに
おじさんには
必要以上に
オイルを
塗ってくる

特に
お尻への執着が
ハンパなかつた。



ㇿ
ㇿ
ㇿ
ㇿ
ㇿ
ㇿ
ㇿ
ㇿ
ㇿ
ㇿ



割れ目まで
広げられ
穴の辺り
舐められ
穴に
舌が
すべり
た
時は



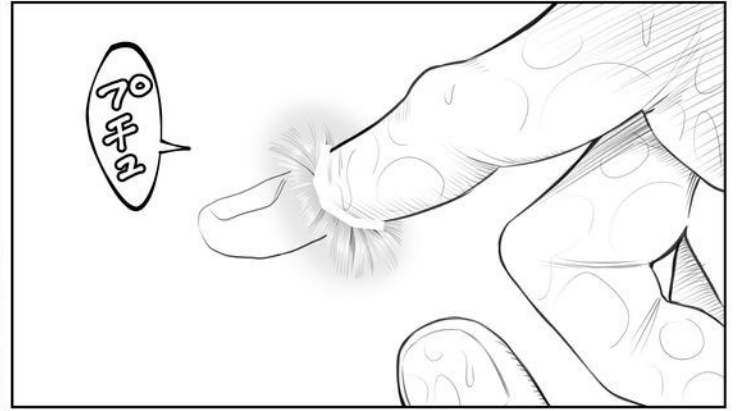
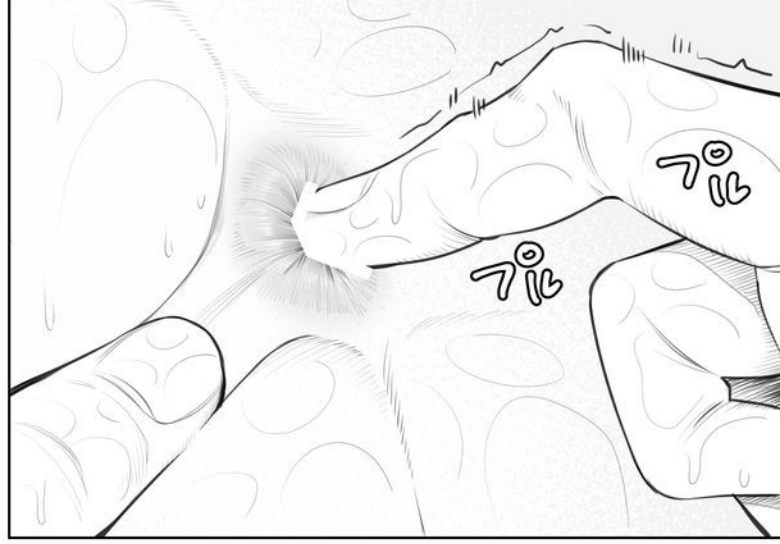
ぬ
ぬ

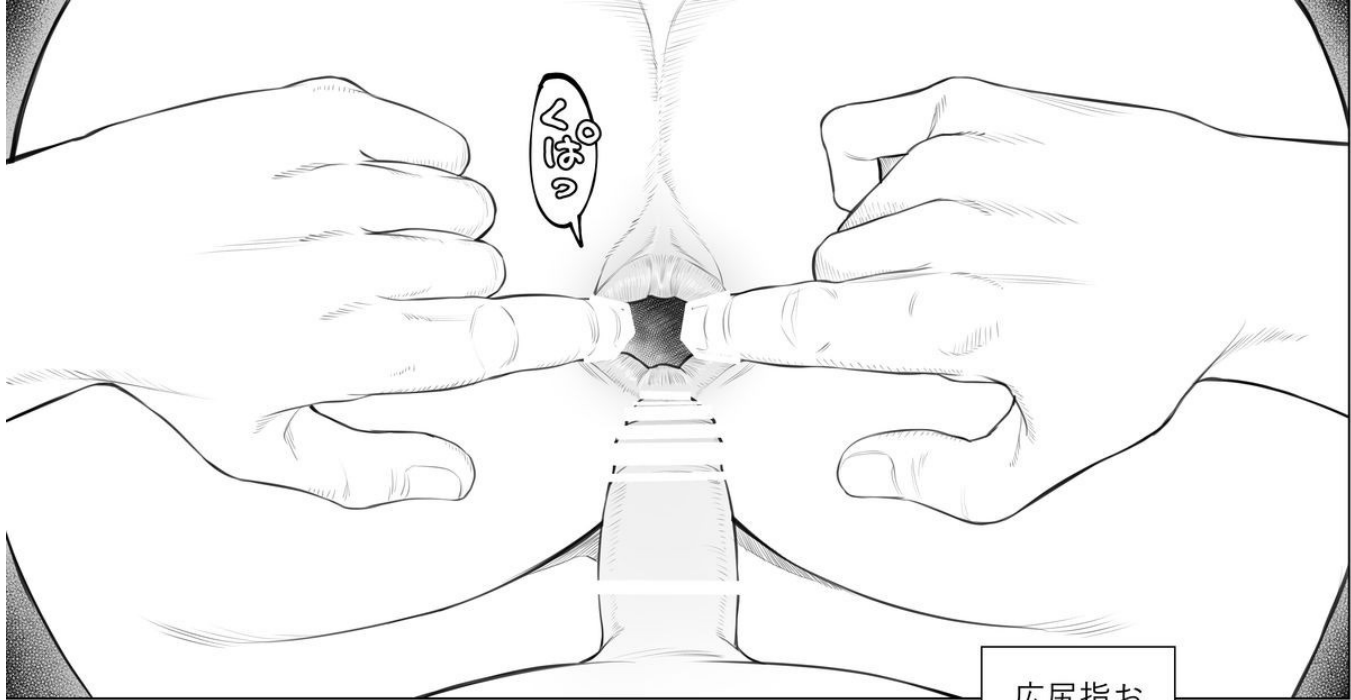


うつつ伏せて
させられて
その上から
またたかれて
いたから

身動きが
うま
く
でき
ない。

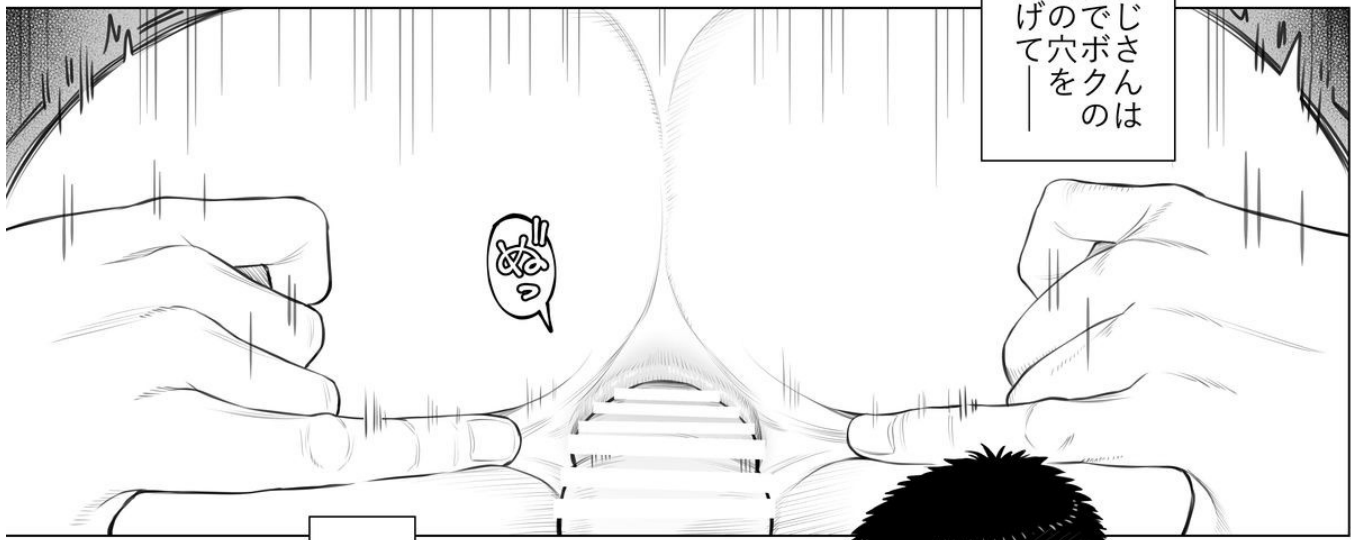
さすがに
抵抗しようと
思ったけど





くさっ

おじさんは
指でボクの
肛門の穴を
広げて

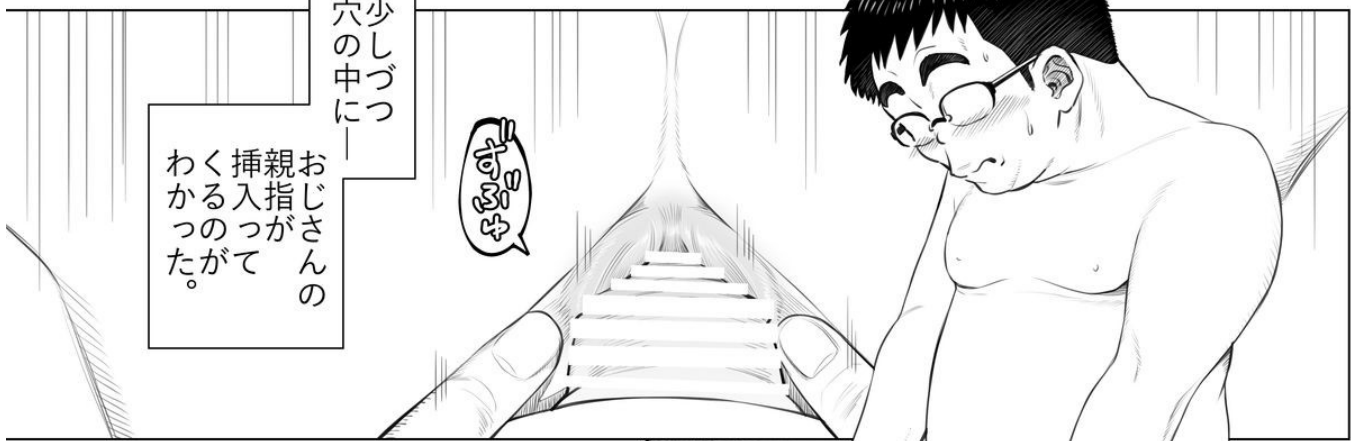


ぬっ

少しづつ
穴の中に

おじさんの
親指が
挿入が
わかる
たがて

すっ





ズッ
ズッ
ズッ
...

ジタバタ
暴れて
みるけれど
ブクブクに
太ったおじさんの
体が重すぎて
逃げられそうも
なかつた。



地面と自分のお腹に挟まれた感じが――

まだカチコチで体を揺らすたびになんだかかへんな気持ちになった。



ズンズンズン

ズン

ズンズン

おじさんはボクの尻の穴から親指を抜いたり挿入したりを繰り返していた

チンコが落ちて来ない気がした



ズンズン

力を抜いておくとどうかわれた

ズンズン

ズンズンズン

次はもっと
大きな波が
くるん
じゃないか…

次は
もっと……

て……



まるで
波がよ
うに
寄が
てい
くは
引い
て寄
せて
くは



その
スピードが
少し
ずつ
早くな
って
くる



次第に
波が
よこ
すこ
とを
た
期待
して
いか
た







おじさんは
またワケの
わからない
つづいて

ボクの体
に覆いかぶ
さってきた

はあ

うっひょオ...

たっくんの
奥マンコに
種付け
できたあ...

はあ

たぽっ

おじさんの体も
ベトベトして
生肉で出来た
毛布に包まれて
いるみたいで
気持ち悪かった。

おぼーっ

背中に
おじさんのチンコが
ピツタリくっつい
てるのがわかる。

ネチヨネチヨ
してて
そっだけ
妙に熱かった。

ビクッ

おじさんは
ボクの体を
うしろから
抱きかかえて
お腹の辺りを
まさぐり
はじめた

その指先が
チンコに触れて
体がビクンと
反応してしまっ
た

おじさんが
ゴミのような話を
するたびに
生温い吐息が
耳の裏にあたって
ただただ
不快だった。

僕がぶちまけた
ドロドロザーメン
今たっくんの中
のどの辺に
あるんだろう…

僕のキンタマから
放出された
何億もの
分身が
たっくんの中
で散らばって
キミの一部として
一緒に生きて
いくんだねエ…

いやあ…
感動や
しちやうなア

ぐんぐん

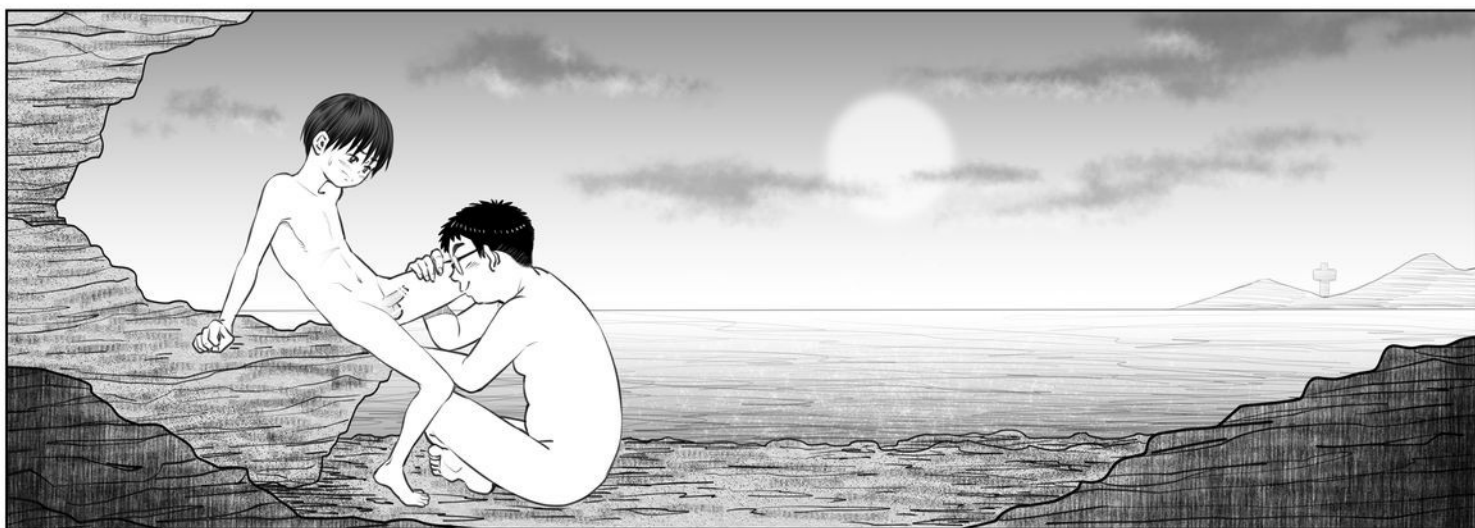
ぷにぷに
ぷにぷに

たっくんの
プニタマちゃん
の中に
ミニミニ
たっくんも
僕に分けて
くれるかい？



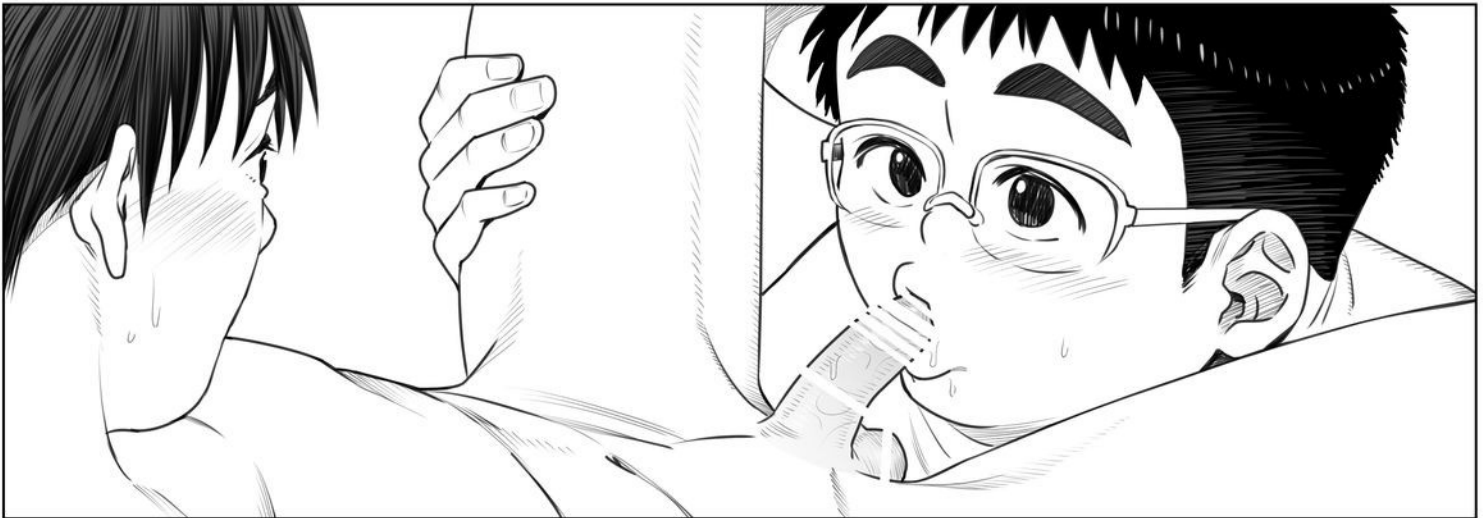


ボクの
チンチんは
限界だつたは





チンチンの皮の中に
舌を入れられた時は
女の子みたらいたな
出てしまった。声が



完全なる
変態の
顔つきだった

そっぽが悪くて
おじさんを向くと
嬉しそうに顔を
浮かべて
ジトツとした
目つきで
こちらを
見てくる

クラスみんな
パオンモールへ
洋服を買いに
行くこと

修学旅行のこと

親友のヨツちゃんと
ゲーム実況の
チャンネルを
立ち上げようと
していること

ずっと使わないで
貯めていたコインで
一〇〇連ガチャを
回そうとしていること
次の大型アップ
デートのこと――

そんなことを
考えていると
ワクワクして
心が軽くなって
いく気がする。



今日が終わっても
楽しいことがまだ
この先にたくさん
あることを
思い出したら

体がフワッと
宙に浮く
感じがして

またチンコが
キーンと
なった――

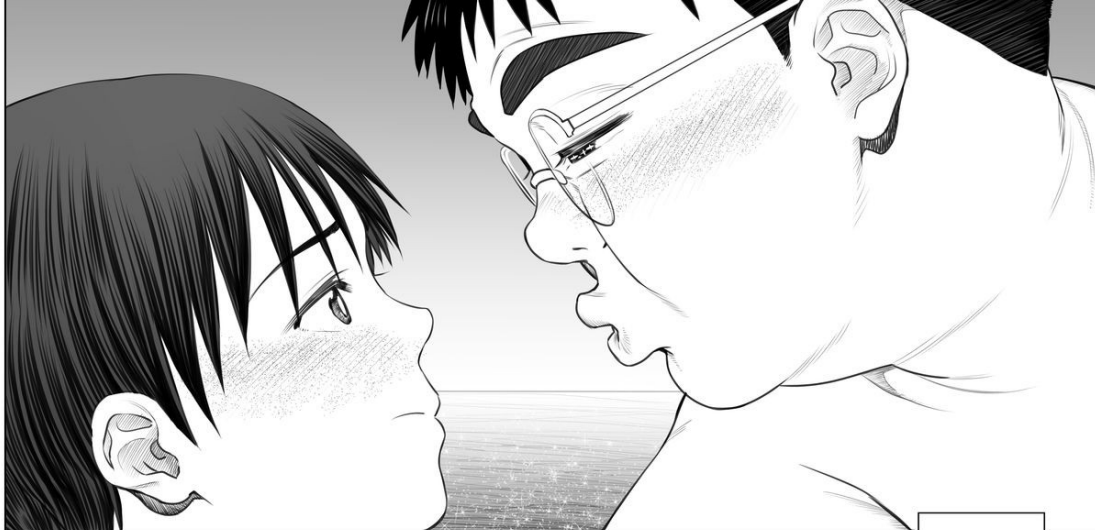




おじさんも
満足そうに
ほほ笑んでたー



ちよつと
気まづくなくて
しばらく
見つめ合った

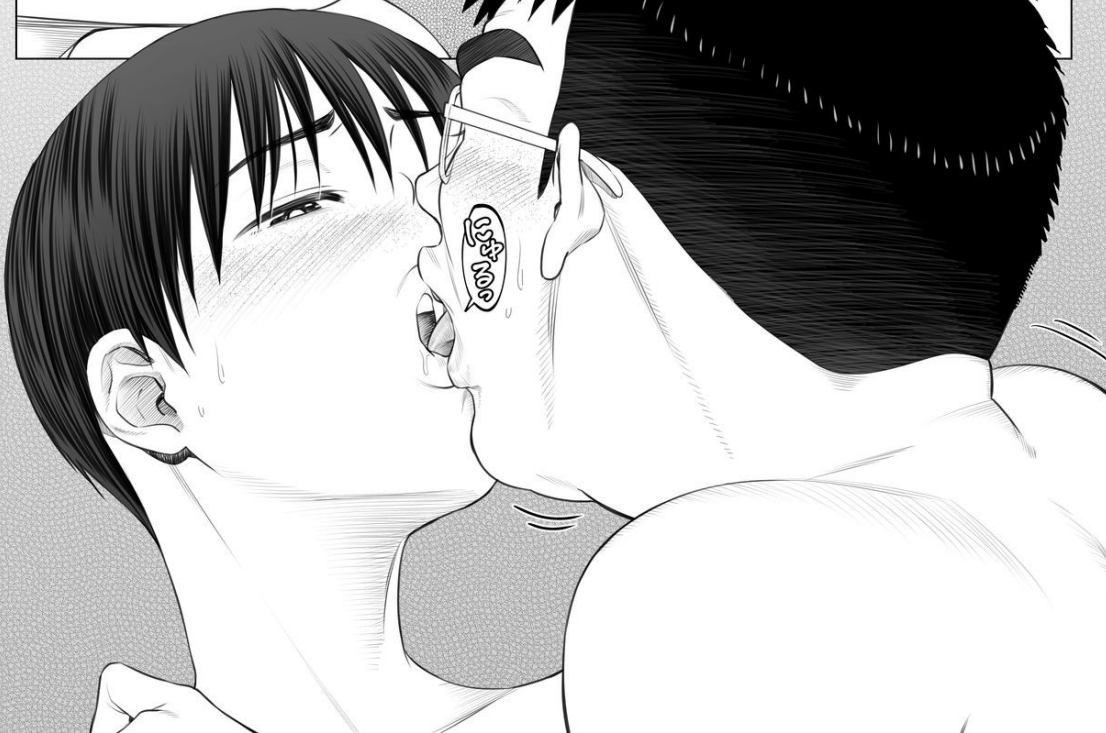


しばらく
喋らないで
いたら—



おじさんが
チューして
きた

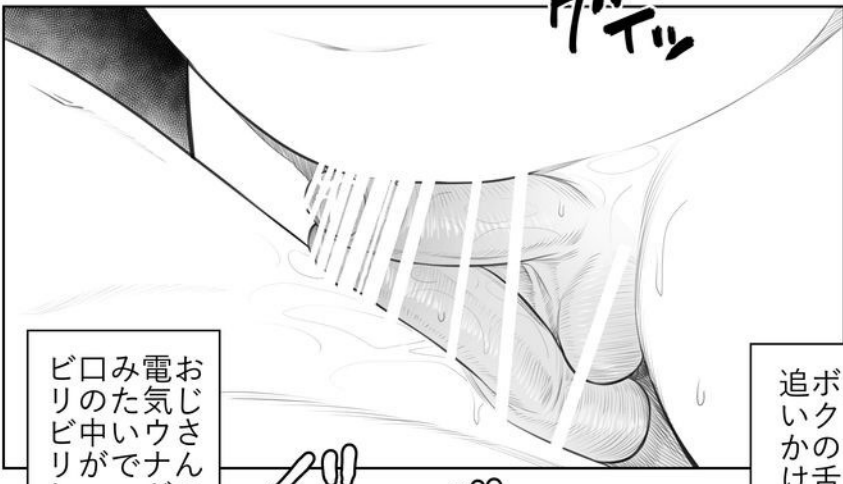
ふにっ



グイッ

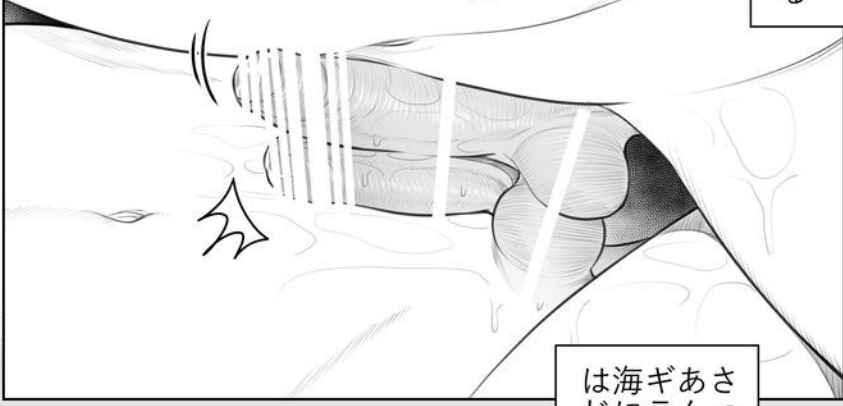


舌が口の中に入っ
てきてボクの舌を
追いかけて回して
る



おじさんの舌は
電気ウナギ
みたいで
口の中が
ビリビリ
した。

グ
グ
グ
グ



さっきまで
あんなに
ギラついで
海に沈みて
はじめた
——
太陽は

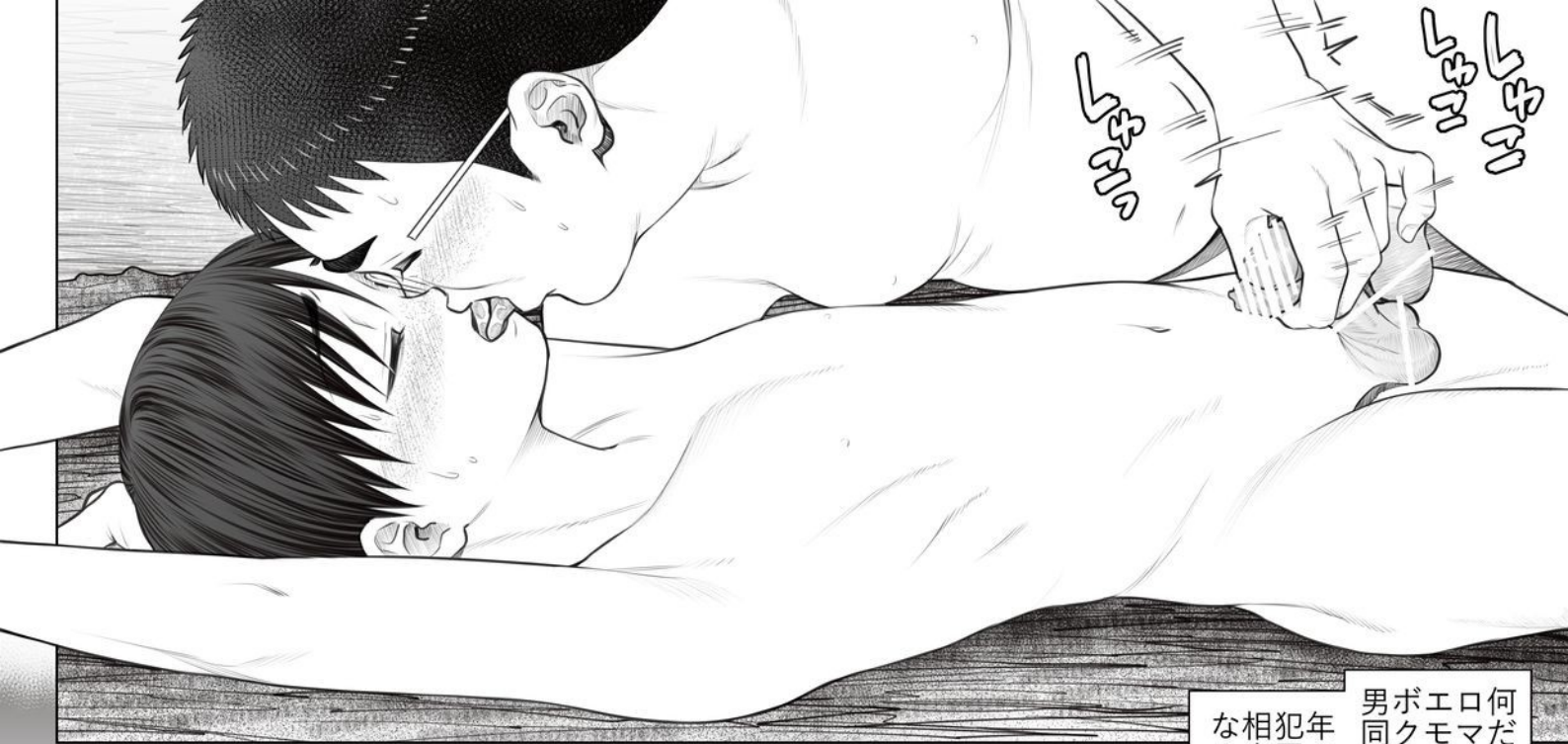


ズ
ズ
ズ

グ
グ
グ

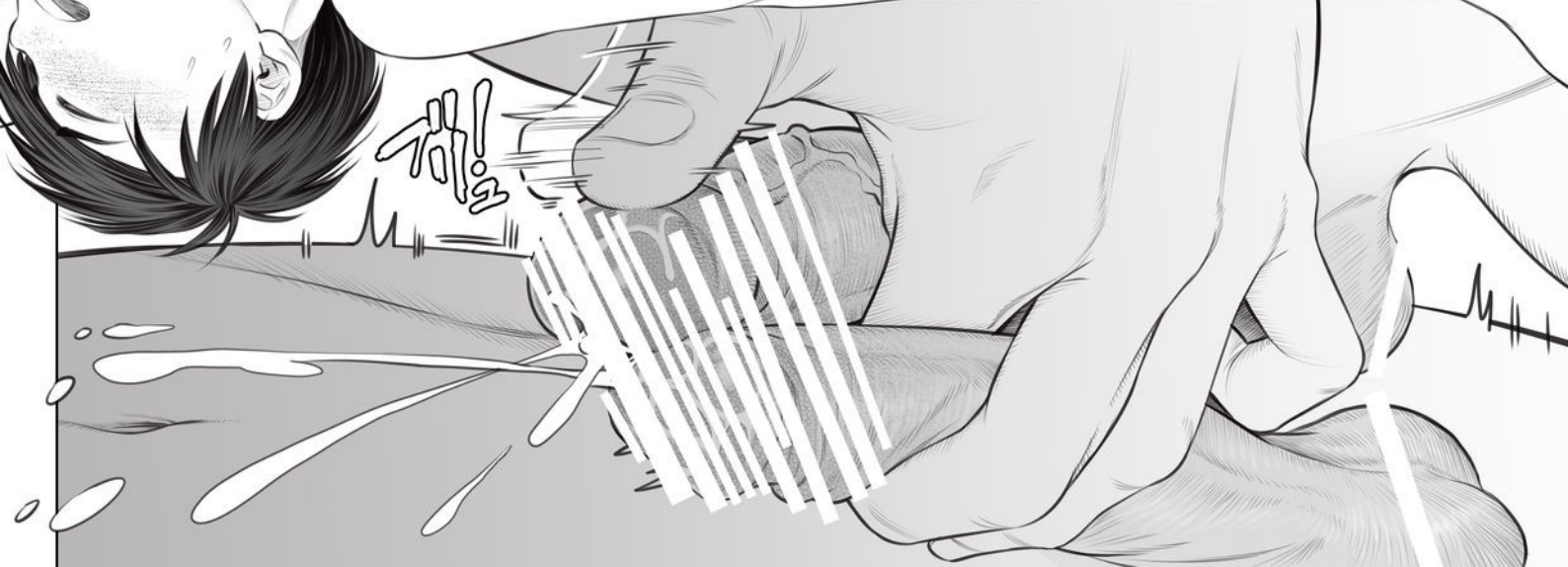
ド
ド
ド
ド

オレン
ジ色の
太陽が
眩しく
てボク
は目を
細めた。



何だか
ロマンチックで
エモい状況だけど
ボクたちは
男同士だし――
年の差も
犯罪級にエグいし
相当ヤバい案件
なんだと思う。

きっと多様性の
一言では
片付けられない



—母さんが
今のボクを見たら
どう思うんだらう



言葉を失って
ひどく
悲しむのか—

ボクのこと
を叱るのか—

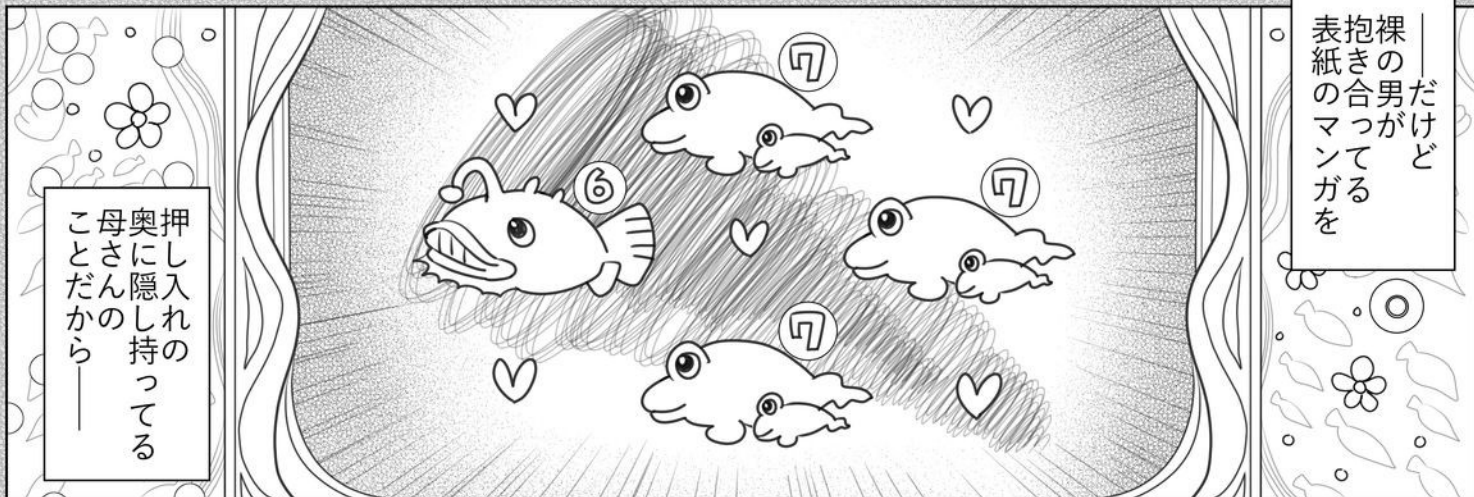
呆れて
何も言わない
のか—



それとも
泣きながら
抱きしめて
くれたり
するだろうか—

どれも
うまく
想像できない。



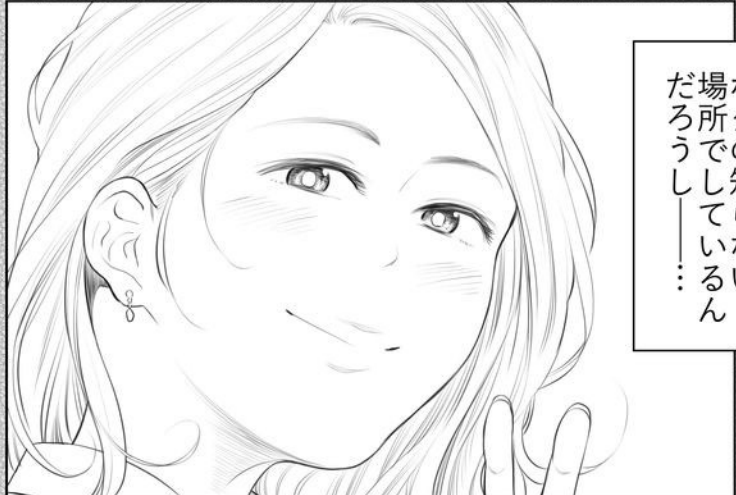
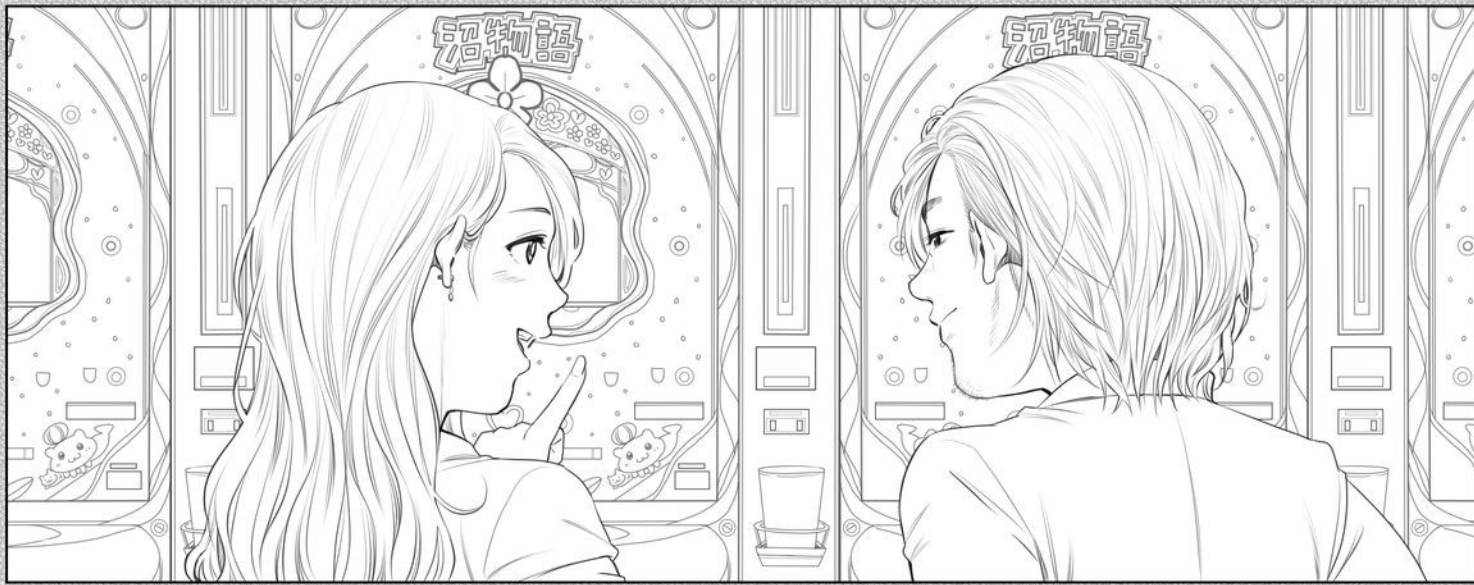


押し入れの奥に奥さんの隠し持ってる
こたえだのから

裸の男だけ
抱き合ってる
表紙のマンガを



案外受け入れて
もらえるの
かもしれない。



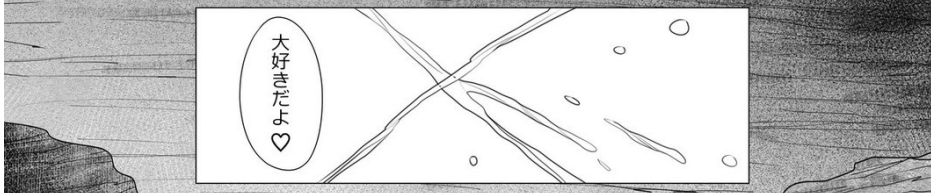
新しい彼氏とも
似たようなことを
ボクが知らないん
だ場所してらるん
うしー…



…おじさん
ボクのこと
好き…?



もちろん…



大好きだよ♡

ただこの人とは
きつと別の誰かと
同じような
過去に何度も
している—
そんな
気がした

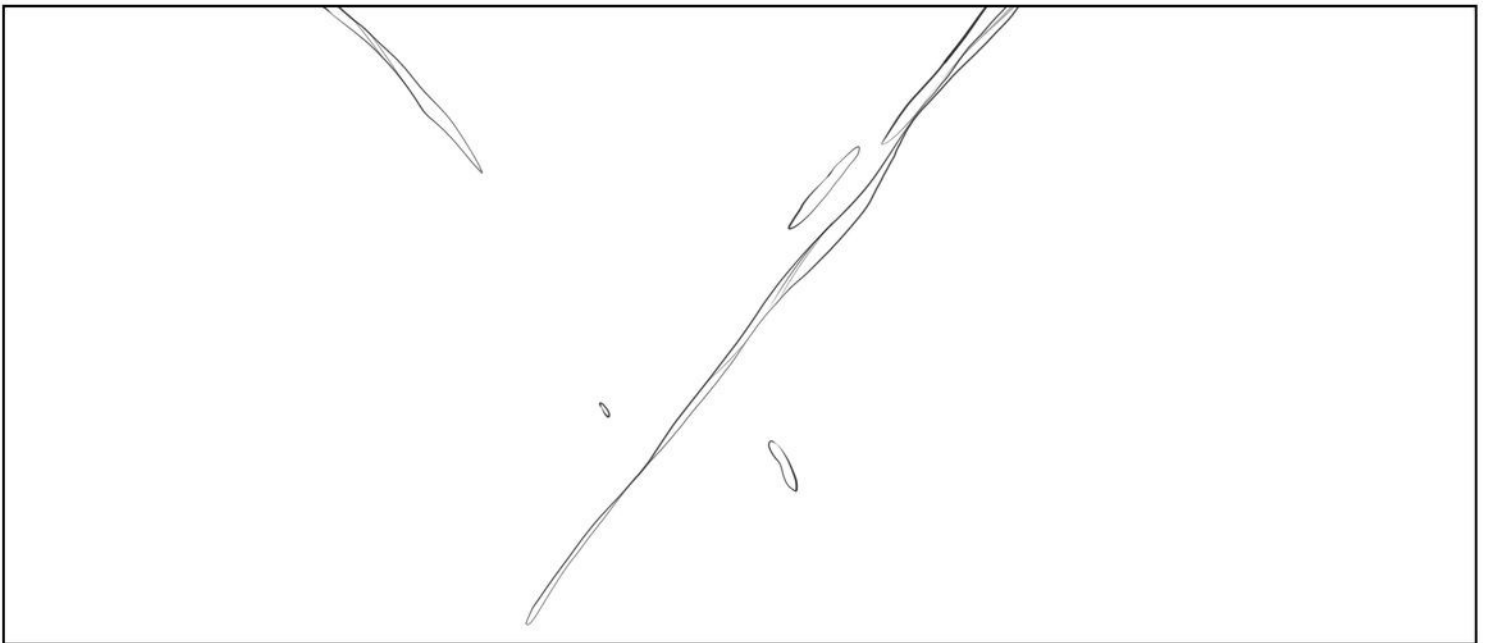


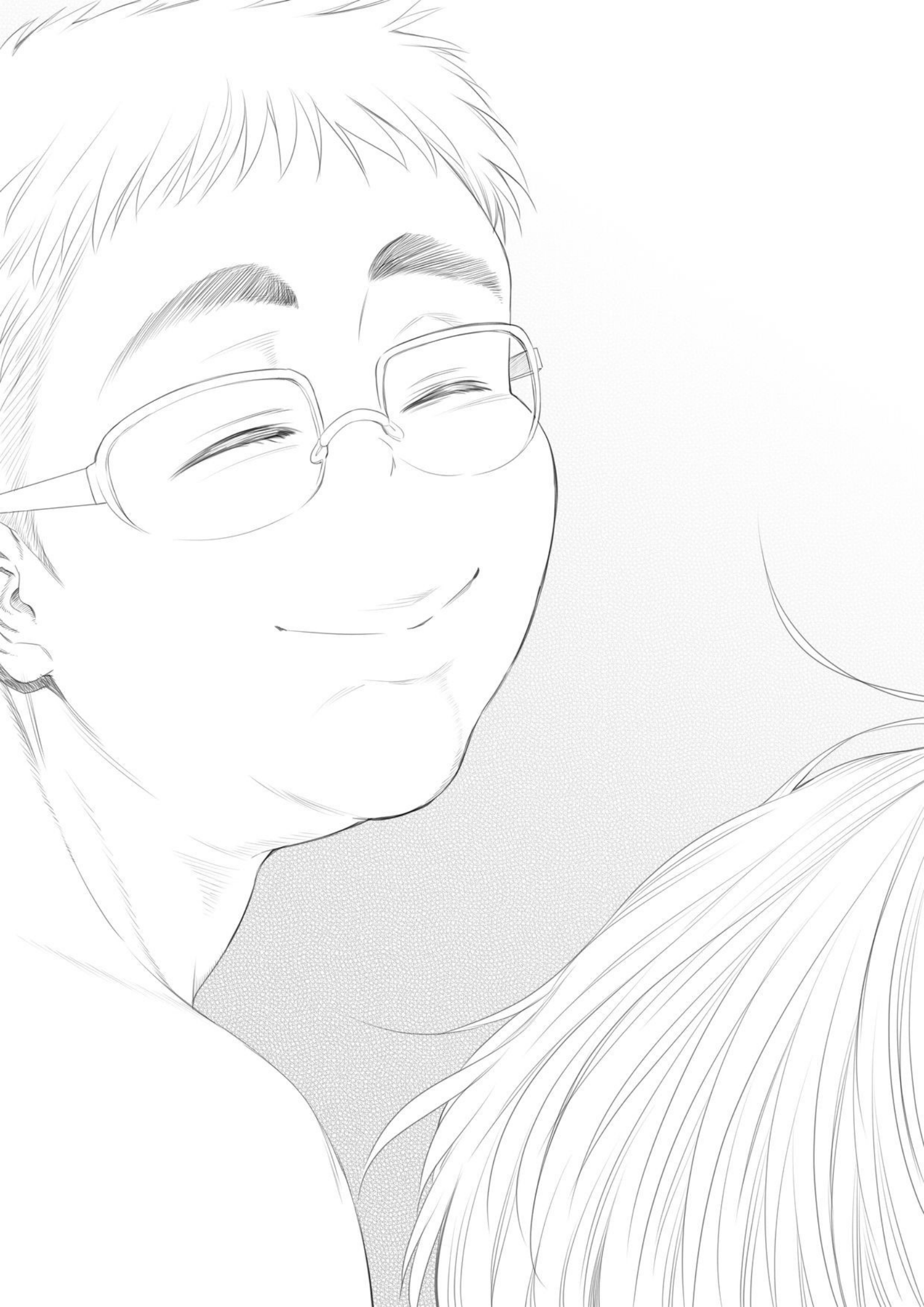
…多分
ウンではない—

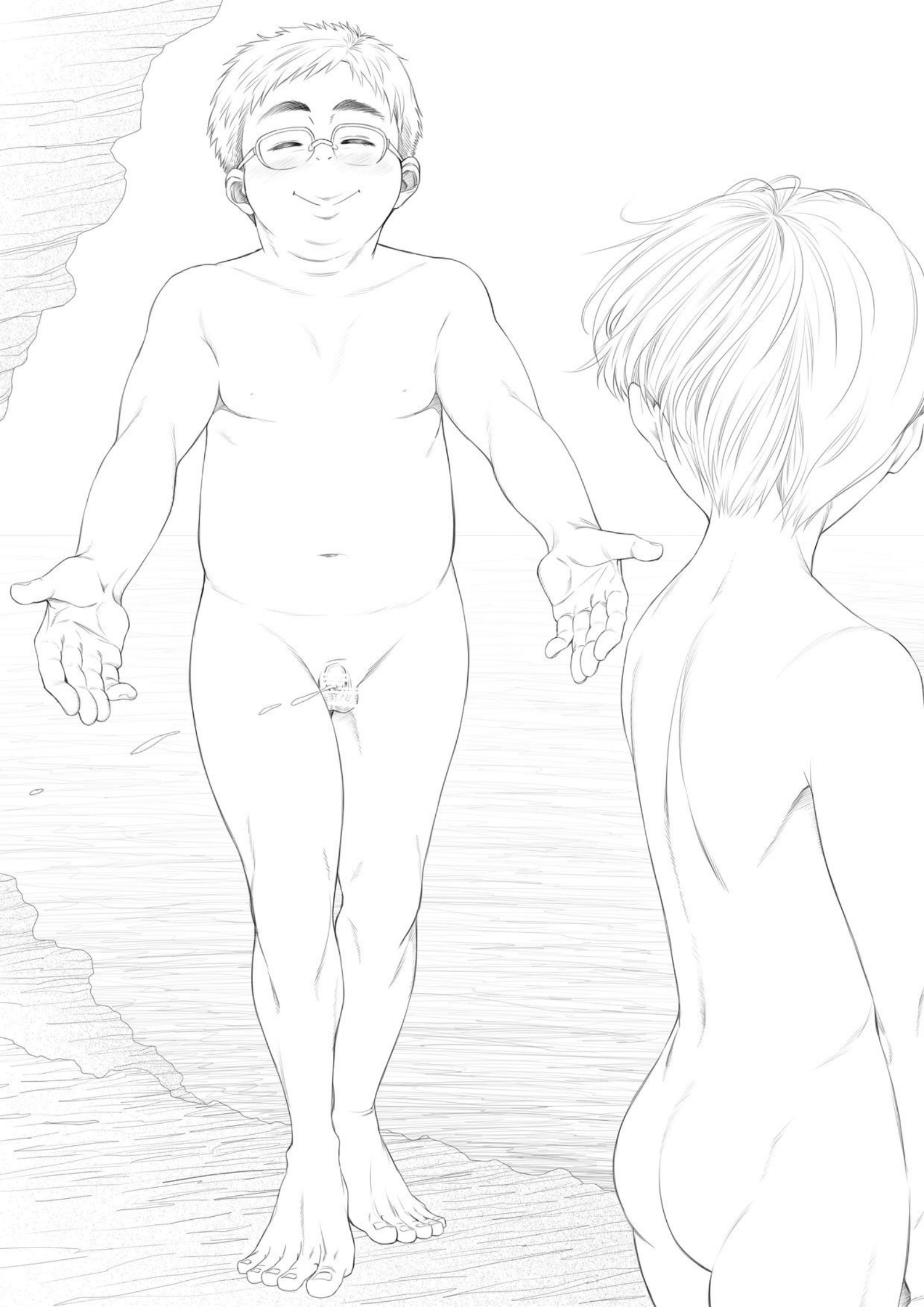
この人が
好きなのは
ボクの体だけで
それをお金で
買ったってこと
なんだろう――

……ボクも
おじさん
好きだよ。

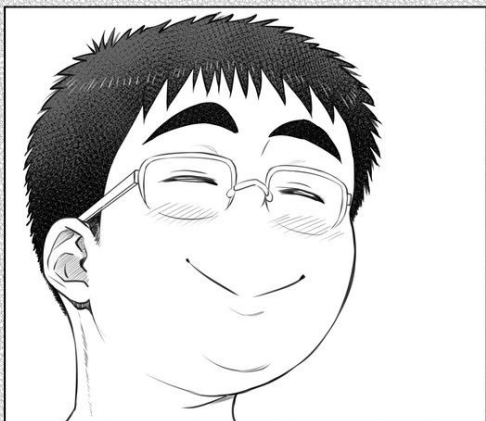
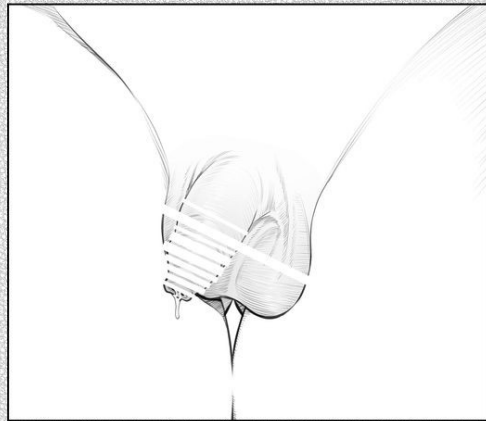
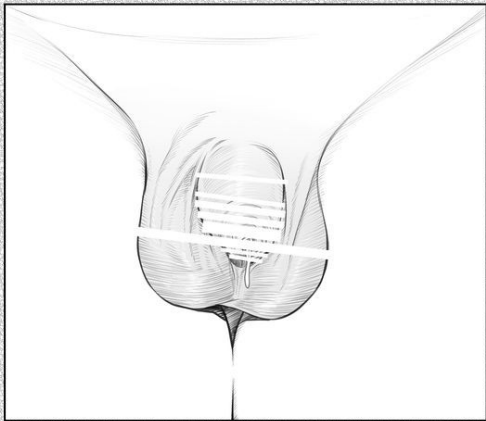
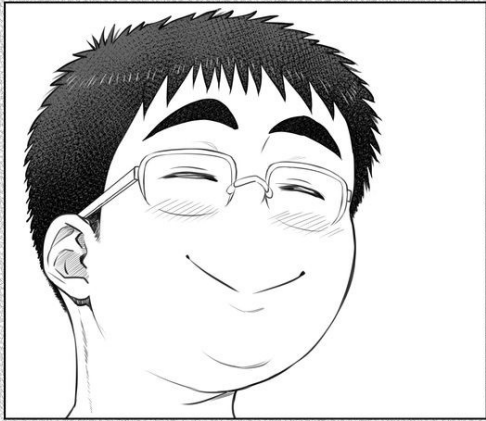
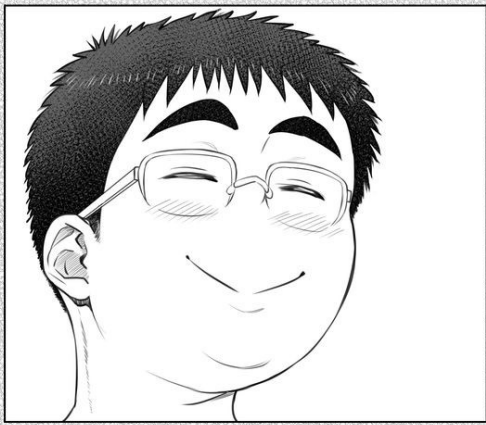
半分ウソ。
だってボクは
おじさんの体が
全然好きじゃ
ないから――

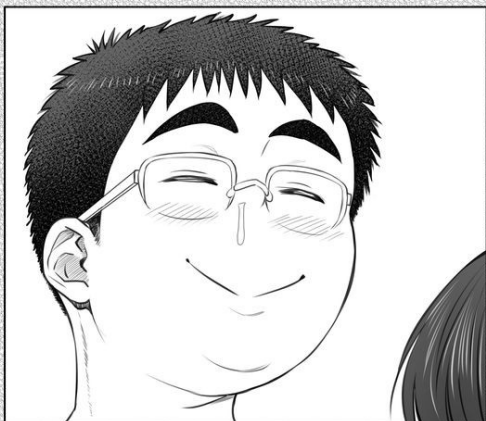
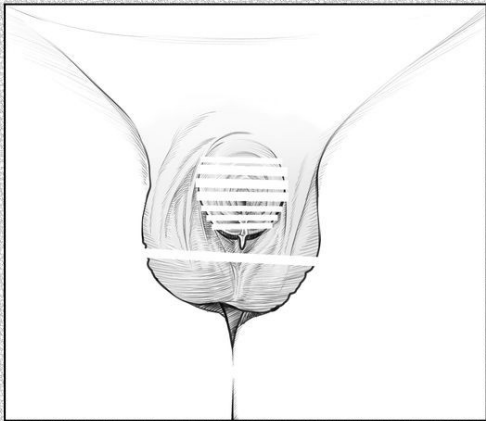
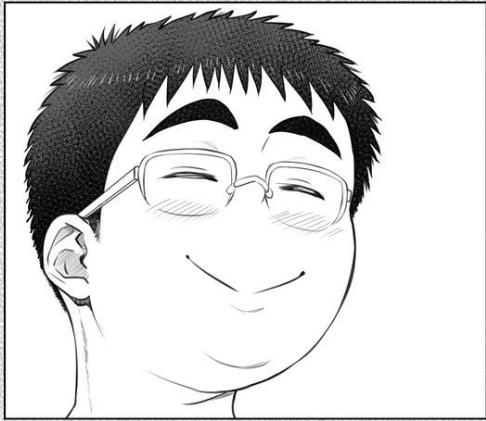
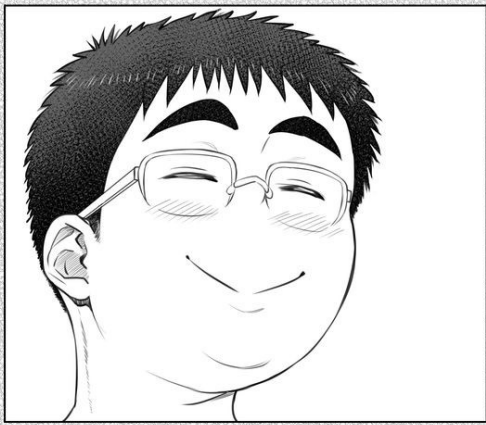












母さんが
コロコロと彼氏を
替えるみたい
この人もい
別の誰かの
元へ行くつ
知ってる

母さんは明日も
朝から化粧を
ボクの参観
履いてこない
花柄のひらひ
スカート履い
出掛けるん

ボクはまた
浮かれ顔で
母さんを夜
待っている
だろ



運ばれ風に
生臭い匂いが
磯の匂いが

少しづつ
ボクを現実へと
連れ戻して
いった……

海の向こうへ
沈んでいくのを
眺めたらあと

銭湯に寄って
駅前でおじさんと
別れた。

別れ際に
一万円札を
握らされた。

コンビニで
うがい薬と
シュークリームを
2つ買って

明かりの
点いてない
公団の家
に帰った。

